

医学系研究科

教育プログラムの名称：看護学専攻

授与する学位の名称：修士（看護学）

**【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】**

山形大学大学院及び大学院医学系研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（看護学専攻・博士前期課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1) 豊かな人間力

(1) 看護高度専門職業人として基本的人権擁護と高い倫理意識を有している。

(2) 豊かな学識と高い見識を備え、基礎理論に基づく疾病予防と生活支援方法を開発・整備できる能力を身に付けている。

2) 深化した専門的知識・技能と文理兼修による幅広い視野

(1) 科学的根拠に基づき、看護の現象、実践技術およびシステム上の課題を明らかにし解決するために、看護の研究を推進できる能力を獲得している。

(2) 現代社会が直面する看護・介護に関する諸課題についての教育・研究・実践活動を自律して展開できる能力を獲得している。

(3) 自身に取り組むべき課題を基に、新たな研究領域にも挑戦できる能力を身に付けている。

3) 多様な文化の理解とその共生に向けて行動できる能力

(1) 多様なサービス提供の場にあつて、国内外を問わず学際的チームの協働・連携に寄与できる。

(2) 幅広い視野をもち、多様な文化の理解とその共生に向けて行動できる能力を有している。

**【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】**

山形大学大学院及び大学院医学系研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、看護学専攻（博士前期課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように研究課程を編成し、専門的知識・技能の深化を図るとともに知の総合的推進力や豊かな人間力を涵養する授業等を適切に組み合わせ教育を行います。また、成績評価基準に基づき厳格な評価を行います。

### 1) 教育課程の編成・実施等

(1) 科学的根拠に基づき、看護の現象、実践技術およびシステム上の課題を明らかにし、看護の研究を推進できる能力を育成するために、各教育・研究分野において特論・演習・特別看護研究と順序性をもって体系的に教育課程を編成する。

(2) 幅広い知識と広い視野を備えた総合力を身につけるために、専攻領域の履修に加え、他領域の特論履修を定め、自由に選択できるカリキュラムを編成する。

### 2) 教育方法

(1) 看護高度専門職業人としての豊かな学識と高い見識を獲得するために、多面的で実践的な教育を展開する。

(2) 学位にふさわしい、科学的根拠に基づく研究方法・研究成果の考察を踏まえた修士の学位論文を作成できるための適切な助言・研究指導を行う。

### 3) 教育評価

(1) 学習成果の評価においては、不断の教育課程の点検・学生からの評価を組織的に行い、到達度を確認できる明確な成績評価基準を策定し、厳格な評価を行う。

(2) 論文審査では、論理的思考・説明能力の育成を考慮し、論文審査基準を公表し、審査については公開制で実施する。

(3) 看護の現象への知識、看護研究の推進、看護・介護の理論・技術・システム・人材育成に対し、総合的・主体的・自律的に取り組む姿勢を評価する。